

ごみの減量、何をすればいいの？

平成29年度に清掃センターに搬入されたごみの量を平均すると、市民1人が1日に約880グラムのごみを出していることとなります。重さのイメージは、500ミリリットルのペットボトル1本分と350ミリリットルの缶1本分です。

ごみは、生活していると必ず出てくるものです。その量は少しずつ減ってきていますが、日常生活のちょっとした心遣いを続けていく必要があります。

ごみを出さない工夫

- 必要なものは必要な量だけ買う。
- 使うかどうか分からないものはもらわない。
- ものは大事に使う。
- レジ袋を断る。マイバッグを持参する。
- 使い捨てのもの（紙皿・紙コップなど）はできるだけ使わない。
- 食べ残しをしない。
- 期限の近い食品から使う。

ごみを減らす工夫

- 詰め替え商品を買う。
- 生ごみの水分を切る。
- 過剰な包装は控える。

リサイクルにつなげる

- 汚れている容器包装プラスチックは、洗うことで燃やすごみに出さない。
- 新聞や雑誌、ダンボール、雑がみなどは古紙の資源回収に出す。
- 自分では不要になったものを、必要とする人に使ってもらう。

ごみを出さないためにできること、ごみを出す前にできることなど、自分自身でできることからご協力をお願いします。